

# 3・27三里塚へ!

2011年3月23日  
8

Tel 050-3036-6464  
mail\_cn001@zengakuren.jp  
http://www.zengakuren.jp/

全学連(織田陽介委員長)書記局通信

## 3・20「大恐慌-大震災-大失業」と対決し、 「菅打倒!」の渋谷大デモうち抜く!



★今こそ全国300万学生の団結を甦らせよう!

★4月新歓で「救援-反原発」運動を巻き起こそう!

★労農学連帯! 3・27三里塚全国総決起集会へ!

全学連・織田陽介委員長の

### 集会基調提起

僕は今日の集会にあたり、一つの決意をしてこの場に参加しています。それは、青年・学生の運動をこの中からつくりあげ、私自身そしてこの場の全員の飛躍をかけてこの大地震に真っ向から立ち向かうということです。

#### 【1】3・20集会開催に至る経緯について

私たちは今回、3月20日ということでイラク開戦から8年の反戦デモを呼びかけ、結集運動を始めました。去年の1月23日に朝鮮半島で砲撃戦があり、米韓日が一気に軍事体制を構築する動きが始まり、私たちは絶対にこの帝国主義の侵略戦争を止めなければならないという思いでこの集会を呼びかけ始めました。





東北大学学生自治会の  
石田真弓委員長

そして1月、事態はものすごい勢いで急変し、チェニア・エジプトから一気に革命の炎が巻き起こり闘いが進みました。私たちは大恐慌の中で、ついに世界の労働者・学生・農民・市民が怒りを持って立ち上がり社会を根本から変える時が来たと考え、何よりも日本の労働者とりわけ青年労働者・学生が、この

社会を変えたいという思いの中にあることをつかみ、「エジプト革命に続こう!」という横断幕をつくりました。そしてこの集会の10日前に大地震が起きたということです。

この大地震の後に何が起きたか？ 僕たちはただちに物資を持って仙台に駆けつけました。そこにあった現実、菅政権が本当に何もやっていないということなんです。それどころか高速道路を封鎖し、私たちが行くことそのものを阻止している。それで僕らは、「政治休戦」だとか「デモをやるな」という状況の中に置かれ、ただこの状況を私たちはぶち破って、もう一度この集会をやるんだと決意して今日この場に集まったということです。

## 【2】「大地震に真正面から立ち向かう」

### とは、何と闘うことか？

みなさん！ 大地震の現実に真っ正面から立ち向かうということは、何と闘うということでしょうか？ 今、「史上最大の地震が起きて仕方がなかった」とか、もしくは「原発に水をまいてもまいても止まらない」とか、何か人間の力では解決しないもの凄いことが起きてるような宣伝の中にいます。しかし、本当にそうなのでしょうか？ 私たちの力で解決できないことが起きてるのでしょうか？ 僕は「違う!」と真正面から言いたい。原発をつくったのは地震じゃないことはハッキリしている。あんな滅茶苦茶なものが僕らの社会にあったことが明らかになった。これだけです。僕らが住んでいた社会が、どれだけ無茶苦茶だったことが明らかになった。

私たちはそういう意味で、今の原発の事態をつくったのは自民党政権と菅政権だということ、私たちの闘いでこんな社会を変えることは可能だということをハッキリさせようじゃないですか！ 地震でなくなった方よりも津波で犠牲になった方が圧倒的に多い。「99%の確率で起きる」と言われていた地震に対し、たった3分の1の堤防しかつくらないで地方を徹底的に切り捨ててきた現実で、2万人とも言われる死者・行方不明者がいます。

僕は東北大出身で、僕が住んでいた有朋寮は「宮城県沖地

震が来るから危ない」とさんざん宣伝され、最後は機動隊を導入されて暴力的に潰されました。寮を潰すために地震を大宣伝して、いざ地震が来たらその大学教授たちは堤防の一つもつくってないじゃないですか！ この現実が暴露されたただけなんです。どれだけ地方の労働者、お年寄り、農民を殺してきたのかということがこの地震でハッキリした。

いま私たちがやるべきことは、悲しむことではなく怒ることです。何より最大の問題は、この地震において、新自由主義攻撃の中で労働者・学生の団結が破壊されてきた現実が明らかになったことです。イギリスのサッチャーが「あらゆる社会的連帯を断ち切る」として始めた新自由主義が、何をもたらしたのか？ このことが明らかになったんです。

今日は、東北大学日就寮の仲間がここに駆けつけて来ています。日就寮の闘いが愛媛新聞(3月18日付)に載りました。すごいです。受験生親子を迎え入れ、大震災の中で助け合って生活し、寮生で協力をしてたくましく生きぬいているあの姿を見てください。

他方で、本当に団結しなければ生きることが出来ない状況に被災地を中心に置かれています。在宅介護においやられ、孤独のまま老人が殺されています。外注化・非正規職化でトコトンまで労働者・学生の団結を奪い尽くしてきた結果が、今の現実です。

この被災地の中から、生きるために隣の仲間と手を取り合って団結し、生き抜く闘いが始まっています。新自由主義に奪われ尽くされてきた団結を取り戻す根底的な闘いが、





被災地から始まってます。この闘いの中にこそ希望がある、どれだけ苦しく絶望に追いやられても、労働組合と学生自治会を甦らせ、団結を甦らせることに唯一の希望があると確信します。

そして、もう一つはっきりした現実、戦争です。労働者・学生の団結が破壊されて何を強制されるのか。それが原発問題の核心です。原爆というすさまじい殺戮兵器の原動力を、「平和利用」などとして原発に使ってきたわけです。核心は、日本が再び核武装する政策を続けて、ついに日本の労働者の真上に原爆を落とした、そういうことじゃないでしょうか。

他方で、今朝リビアにフランスが空爆を始めたという報道がされています。しかもフランスに負けじと、アメリカがもうトマホーク・ミサイルを110発撃ちこんだとも報じられています。あたかもリビアの労働者人民の闘いを守るためのようには宣伝されていますが、崩壊した石油支配-中東支配をフランスがとるのかイギリスがとるのかそれともアメリカがとるのか、こういう戦争じゃないですか。リビアの労働者たちは既に石油を自分たちで生産し、輸出も始めていました。こういう闘いをつぶすために戦争が始まったということです。この戦争に爆撃機が飛び立つのは、他でもなく日本であり沖縄です。これから日米安保と労働者の戦争動員の問題が、ますます差し迫る問題になってきます。メアという元〔米務省〕日本部長が沖縄基地問題に関して「反戦闘争はゆすりなんだ」と発言しました。にもかかわらず今、この地震を契機に沖縄ではメア弾効の声もなくなったと言われています。「地震だから闘うな」「挙国一致だ」、その先には沖縄に基地ができるということじゃないですか。われわれが戦争に動員されるということじゃないですか。だから私たちは、原発即時停止の闘いと沖縄の闘いは一つだ、反戦闘争と一体だと確認したい。

### 【3】これから「日本初の大恐慌」が始まろうとしている

これから日本発の本格的な大恐慌が始まります。既に日本の株価は暴落し、たった二日間で日銀が投入した資金は82兆円です。どこにカネ使ってたという話です。アメリカ

をはじめあらゆる帝国主義は、この恐慌を止めるために何兆何十兆というカネをこれから投入する。国家が破産しないために公務員がクビを切られる、増税される、こうなっていくわけです。本格的な世界大恐慌が始まる中で、私たちがこれに真正面から対決しなければならない。大震災を口実にして解雇するな！地震を理由にしたら増税はOKなのか！ふざけるな！支配者の言う「大震災」とは、大恐慌のことです。菅政権がやっているのは救援なんかじゃ断じてない、むしろ、攻撃であり階級戦争だ。こんなやつらをぶっ飛ばさなければ仲間は守れない。これからこの現実が日本中に拡大しようとしています。すでに首都圏を中心に、派遣労働者が千万の単位で次々に雇い止めにあっています。「震災」だから違法じゃない、震災だからしょうがない、と。この拡大している大震災の現実、東北の現実を自分の問題として受けとめ、団結して立ち向かおう。非正規の労働者を守り抜こう。必要なのは「政治休戦」ではなく闘いです。世界から、日本の闘いが注目されています。ドイツでは原発反対の11万人のデモが行われドイツの原発政策が破綻に追い込まれました。リビアで闘う労働者たちが「日本の労働者頑張れ」とアピールを発しているそうです。世界は一つです。リビアでは空爆、日本では大地震、これを口実に労働者の闘いがつぶされようとしている。この世界的な反動を、世界の労働者と一つになって私はぶち破りたい。

### 【4】原発事故に象徴される「破局」に どういう立場をとるべきか

この原発に象徴される破局的事態に私たちはどういう立場をとるべきか？ 原発事故は、ある意味でもう後戻りのきかない無茶苦茶なところまで来てしまいました。これが、長い長い自民党政治、そして民主党政治のなれの果ての姿です。もうこんな奴らに政治を任しておくことなんてできない！ 経団連・米倉会長の発言を聞きましたか？「日本の原発はすばらしい、津波に耐えた」、どこが耐えたんだ！

もうあいつらは、自分たちがやっていることがどういう



ことなのか見据えることすらできない。青年・学生にこの社会を残せと言わなければならない。彼らがこれだけ破綻させ、これだけめちゃくちゃに破壊した社会であろうとも、私たち若い世代には未来があるからすべてを引き受けて、すべてつくりなおしてみせる。それが私たちの決意でなければなりません。

今、大学のキャンパスが封鎖されています。法



東北大学・斎藤貴広君による宮城現地からのアピール

政も上智も全部封鎖です。若い人が集まれば、必ず闘いが始まる。ボランティアも含めて震災の現場に行ってしまう。これをつぶすために、キャンパスが封鎖されています。

若者の力を私たちは見せなければならぬ。今日から始める大救援運動は、若者が先頭に立って自分たちの手で根本的に社会を創り変えていく運動にしなければならない。僕たちができることは当たり前のことだけです。社会に渦巻く怒りと結びつくことだけです。労働組合をつくり、学生自治会をつくることだけです。ここを、私たちの軸に据えて闘い抜きましょう。

## 【5】行動方針を鮮明にさせ、 ただちに闘いを開始しよう！

最後に方針です。一つは、この救援運動を全力で立ちあげ、ただちに東北・北関東の闘う労働者や学生とともに、私たち自身がたたかいに立ち上がることです。原発労働者も東電の労働者もすべて私たちのもとに獲得し、この社会を根本から変えていく事です。二つは、「原発の停止」を真正面から掲げ、反戦闘争に立ち上がることです。東電への大抗議闘争も含めて、私たちが先頭に立って闘いましょう。三つに、青年労働者は労働運動を甦らせよう。非正規職の派遣切りを絶対に許さず、国鉄闘争全国運動を全国の労働者に訴えよう。日就寮のように新自由主義と真正面から対決してきた運動が、もう一つ日本には国鉄運動としてあり



集会参加者から石田君と福島君の国労労働者に檄が渡される

ます。ここに日本の労働者の希望と展望を見て、私たちはここにかけたい。最後に、学生は大学をとり戻さなければならない。原発のあの爆発を前に嘘をつき続ける大学教授は一体何なのか。あんな奴らが大学や学問を語っていること自体が許せない。いま大学が腐敗の極みだ、学生が根本から大学をつくりかえる以外に道はない。その最先頭で法大闘争を爆発させたい。今日から本気になって運動をつくりだそう。自分たちの意図を隠さず真正面から訴えることです。「こんな社会は許せないんだ」「こんな社会は根本から変えたいんだ」と真正面から訴える。同時に、本当にあらゆる人に結集して欲しいということの本気になって訴える。意見が違うからではなく、本当に一つでも二つでも意見が一致しているところを探し出し、壮大な運動をつくる。私たちはそういう運動をやりたいんだと、今日初めて参加していただいた方にも訴えたい。

今日デモに行ったからまあいいかという感じではなく、一つでも一致点があれば、なくても見つけ出し、ここにいる人たちが増えていく、二倍三倍になっていく、そういう運動を僕たちはやらなければならない。この社会を根本から変えたい、この本気さで勝負する以外にありません。今日から、私たちの飛躍をかけた闘いを開始しましょう。私はその最先頭で闘います。ともに闘いましょう!!

## 法大文化連盟・

### 斎藤郁真委員長の発言

今、法大闘争は佳境に入っています。3月15日、倉岡さんへの処分のための呼び出しがありました。人間環境学部の教授は結局のところ「上に言われて仕方なくやっている」としか言いませんでした。法政大学は、倉岡さんが「大学の商業化」に反発して政治運動をやっているから追い出しただけです。私はこの問題に今の社会の縮図、とりわけ大学の腐敗という問題が凝縮されていると思います。

今回の東日本大震災で原発問題が焦点になっています。名だたる大学の教授がたくさん出てきて、ひたすら「原発は安全だ」と言い続けている。学問が政府のくだらない責任逃れのために使われている。そもそも一度動かし始めたら、人間自身で制御できないようなものをなぜつくったのか？自ら制御できないものをつくり、それを容認することが学問なのか！ その一方、大地震で受験に行けない人が大量にいるのに、平然と受験を行う現状がある。学生のため





## 三里塚芝山連合空港反対同盟・

### 萩原進事務局次長の特別アピール

情勢が一変した事態が起こっている。反対同盟と動労千葉の声明をもとに、もう一度大きなうねりと闘いをつくり上げよう。われわれ反対同盟はこの空前の大震災の中で、家族を失い、津波にすべてを奪われ、それでも力の限りを尽くして生き延び、そしてこの世の中を変えようとする、それをわがものとして痛みを捉えきり、手を携えてともに歩いていく。そのことを徹底的に追求していく必要があると思います。

被災した人たちをまず第一義にわれわれの戦列に加え、そのことを通して物事を考えていかなければならない、そういう情勢にある。われわれは阪神大震災のときに三日目に阪神の中に入って、そういう経験をして関西の人たちと交流を強め、団結を強め、今日まで闘い抜いてきました。

これは、単に東北や関東の一部の問題ではない。日本全土がこれに対し、どう判断するかというところまで突きつけられている問題だと思います。政府や東電が「予想を超えた大震災だ」「だから避けられなかった」と言い訳をしている。だけど、そういう言葉で片付けられる物事では決してない。自民党政府、民主党政府が取ってきた政策が、われわれ農民から言わせれば、「この自然を制御できるんだ」という、大それた、おごった、とんでもない思い上がった政策の上に出されてきたつけです。その結果がこの大震災を生んだんです。私が何度も言ってきたように、今までの文明や文化などの価値観を変える時期なんだと、それを変えて、ここからもう一度見直す時期に入っているんだと。

ものの見事に彼らのうってきた政策が今、ここで土台から大きく崩れた。これが「天災だ」「予想をはるかに上まわった事態なんだ」と済まそうとすること自体が絶対に許せない。鉄道でも事故を起こしたら自己責任と問われるんです。しかし、裁判官が冤罪を起こしたって、大資本家がこのような事故を起こしたって、彼らはのうのうと生きようとしている。われわれは彼らに対し徹底的に責任を追及しようではないですか。

だいたい、「99%地震が発生する」その地に原子炉をドンドン立ててきたのですよ。その結果がこうなってるんですよ。当たり前の話です。津波が起こるのもそう。事故が起きるのもそうなんです。原発で事故が起きたから停電するなんて、とんでもない話です。これが国家の政策なのか。東電はどんな事故が起きようと民間家屋に電気を送るのは

にあるのが大学ではないのか！ 学生のためにあるからこそ、そこは未来を体現するんじゃないのか！ 政治活動をする学生を追い出すところにいったい何の未来があるというのか！

今、学生の置かれている現状は本当にすさまじい。内定率は3月でも78・8%です。学生の失業率は20%を超えています。これはエジプトと同じレベルの失業率です。しかもこれは大地震の前の数字です。地震後に現実はどうなっているのか、まったく分からない状態です。一方で大学は高い学費をとり、それでマネーゲームをやって儲けている。本当にふざけた現実がある。「行けば行くほど未来を奪われる大学」を変えなければならない。

倉岡さんのように何かをやれば処分や逮捕、社会的に排除される現実があります。それは、生まれてこのかた暗いニュースしか聞いてこなかった私たちの実感です。しかし、みなさん！ エジプトをみてください。あの若者の偉大な決起を！ 俺たちもあれをやろうじゃないか！ この現状を突破しよう！ 社会がどんな状態でも、たとえ放射能まみれでも、それを解決できるのは今ここに住み、ここで働き、ここで暮らしている俺たちだけだ。思想や人種が違おうが、それは変わらない。俺たちは東北を救援しなくちゃいけないし、原発をなんとかしなくちゃいけない。今の社会を受け継いで、次の社会を次の日本をつくっていくのは俺たちだけだ。今日、ここから新しい運動を始めよう。俺たちには力があるということを証明しよう。東北を俺たちの力で復興し、運営しよう。カネ儲けのために堤防をつくらず、それと同じ理由で原発を地方に押し付けてきた、こんな政治のあり方と決別しよう！ 倉岡さんの処分を阻止し、今日のデモから「俺たちのエジプト」への道を切り開こう！ とともに生き、ともに闘おう！



当たり前なんです。そんな会社には、もう遠慮してもらいましょう。

東北の沿岸の漁民や農民や労働者の生活を奪い取った、そういう政策がやはり労働者を失業の中に叩き込み、生きることが出来ない現状をつくり出している。原発事故は、このままではチェルノブイリを上回るような事故になる。そうなったら日本全土がとんでもない事態になる。今こそ声を大にして、原子力発電所を即刻止める、そして廃棄すると、それを全人民の声として起こそうではありませんか。中国電力は上関にまた新たな原子力発電所をつくらうとして、島民を踏みにじって400名の作業員と関連の従業員をやって、新たな工事をやっている。こんなことを絶対許してはダメです。

菅政府はもう被災者救援もできない。原発事故も制御できず、統治能力を完全に喪失してる。そして国家財政の破綻。そんな中で崖っぷちです。しかし「財源がない」なんて言わせない。ありったけのカネを全部被災者に出せ。食料も住宅も衣料も生活に必要なものは全部放出しろ。われわ

れ無条件に被災者の立場に立って、労働者・農民・市民が団結して、地域共闘をつくり上げて、官製の救援運動ではなく下からつくり上げた、労働者を先頭とする人民の救援運動をつくっていく、そしてこの社会を変える、そういう構造をつくり上げていく。

政府・資本家が右から挙国一致体制でやろうとしていることと大激突を開始する。われわれは一步でも退く、あるいは後ろを見たら押しつぶされる。しかし、絶対に勝てますよ。日本発の第二の大恐慌が、世界にあの大きな津波のように発信されたんです。資本主義体制があつた津波の中で押しつぶされようとしているんですよ。このときに心ある人民が立ち上がって、旗を振って闘おうではありませんか！

動労千葉と反対同盟の声明をもとに人民は決起しよう。そのために、3・27の三里塚の全国集会は非常に重要な意味を持っています。全員があつた地に集まって、新たな出発点はこちらにありという確信をもとに闘いぬく日です。絶対に帝国主義を打倒し、権力をかちとって新たな日本をつくり上げていこうじゃないか!!

**第3誘導路建設阻止！ TPP反対！**

**現闘本部の破壊を阻止し、市東さんの農地を守ろう！**

**軍事空港建設粉碎・改憲阻止！**

**3・27 三里塚全国総決起集会**

【日時】 3月27日(日) 正午

【場所】 成田市天神峰 反対同盟員所有地

【主催】 三里塚芝山連合空港反対同盟